

78 B 0

特 許 公 報

特許出願公告
昭31-5805

公告 昭 31.7.17 出願 昭 29.9.14 特願 昭 29-19775

出願人 発明者 佐 藤 健 三 京都市伏見区東浜南町680
代理人 弁理士 中 尾 房 太 郎

(全8頁)

鉄 道 軌 条 の 自 動 給 油 装 置

図 面 の 略 解

図面は本発明実施の一例を示す一部縦断側面図である。

発明の詳細なる説明

本発明は軌条の下側に定着するブラケットに弾性アームを介してグリースポットを連結し其のグリースポットより延出した給油口の先端に給油舌を装置し、其の給油舌を車輪鏝の摺擦する軌条側面に臨接させ且つグリースポット内に油面に接する油圧板を装置して軌条の震動をグリースポットに伝へてグリースポットの震動により油圧板を慣性下降させ給油口にグリースを押し給油舌により給油させる事の特徴とする鉄道軌条の自動給油装置に係り其の目的とする処は軌条側面の車輪鏝が圧接する部分にグリースを注入する作用を車輛通過による軌条の震動によつて簡単に行はせ、軌条側面と軸輪鏝との間に極めて円滑な給油を自動的に行ふ簡単な給油装置を得むとするものであつて、其の実施の一例を図面に付き説明すればブラケット1の先端をグリースポット2より延出したアーム3と板バネ4を介して連結し、ブラケット1の基部に水平締金5及び押捻子6を設けて、軌条Lの基板Bに水平締金5をナット7により基板Bに沿ふて引き締めると共に押捻子6を回はして基板BのコーナーCに押し付け両者によりブラケット1を基板Bに定着し、一方グリースポット2より延出した給油口8の先端9を軌条Lの下側Aに接着し（此の接着は板バネ4の弾性とグリースポット2のアーム3に螺挿した調整捻子10の締め付けによつて行ふ）給油口8の先端9の他側に捻子11によつて装置した給油舌12を軌条Lの内側Sに軌条Lの上に載る車輪Wの鏝Fの下側に臨む様に接着し、グリースポット2内に容入したグ

リースGの上面に油圧板13をグリースポット2の内周に密嵌してスプリング14により圧着しグリースGを給油口8を経て給油舌12の内側と軌条Lの内側Sとの間に圧送させる様にしたものである。

本発明は以上の様に構成したものであるからグリースポット内のグリースは常に軌条の内側と給油舌との間に圧送されて居り、軌条を転動する車輪が車輛の走行運動を軌条に加へて軌条を震動させると軌条の基板に固定されたブラケットは弾性アームを介して軌条の震動を拡大してグリースポットを上下震動させ、ポット内で発条によつて下圧されて居る油圧板を慣性下降させてグリース上面を圧下しグリースを給油口を経て給油舌より押し出し、軌条の側面と其処を摺擦する車輪鏝の側面との間に注入し軸輪鏝にグリースを附着させ同鏝が軌条側面と軌条の屈曲部で摩擦発熱して軸輪鏝及び軌条が磨損する事を防ぐものである。

本発明は極めて簡単な機構により注油作用を車輛の走行により軌条が受ける震動を利用して行はせるのであるから、車輛の運動量に比例して夫れに応じて必要な注油量が自動的に調節される特長を有し最も適切な給油を円滑に行ひ得る誠に有益な発明である。

特 許 請 求 の 範 囲

軌条の下側に定着するブラケットに弾性アームを介してグリースポットを連結し其のグリースポットより延出した給油口の先端に給油舌を装置し其の給油舌を車輪鏝の摺擦する軌条側面に臨接させ且つグリースポット内に油面に接する油圧板を装置して軌条の震動をグリースポットに伝へてグリースポットの震動により油圧板を慣性下降させ給油口にグリースを押し給油舌により給油させる事の特徴とする鉄道軌条の自動給油装置。

特許出願公告
昭31-5805

